

難治性脳動脈瘤に対するフローダイバーター留置術と母血管閉塞術の比較研究

1. 研究の対象

2019年12月～2023年12月に高知大学医学部附属病院にて脳動脈瘤に対してフローダイバーター留置術もしくは母血管閉塞術を受けられた方

2. 研究目的・方法

通常の開頭クリッピング術や瘤内コイル塞栓術が困難な難治性脳動脈瘤に対しては、従来から母血管閉塞術が行われてきました。近年これらの病変に血管内治療によるフローダイバーター留置術が行われるようになり、侵襲が少なく母血管を温存した治療が可能となりましたが、無効もしくは効果が少ない症例もあり、母血管閉塞術との使い分けが重要です。本研究では、高知大学医学部附属病院で行われたフローダイバーター留置術と母血管閉塞術を分析し、治療効果と合併症を比較検討し、症例に応じた治療選択を明らかにすることを目的とします。研究期間は、高知大学医学部倫理委員会承認日より2025年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：動脈瘤の性状、動脈瘤サイズ、治療方法、治療の合併症、治療6ヶ月後の動脈瘤完全閉塞の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1、TEL: 088-880-2397

研究責任者：高知大学医学部附属病院脳神経外科 福田 仁